

(題字は鎌田薫総長)

# 早稲田大学京都校友会報

■ 編集発行 京都市上京区千本通下長者町上る 菊花美容室気付  
早大京都校友会

## 平成23年度 定期総会

### 「東日本大震災義捐金 ・百万円」

五月二十九日、京都ホテルオークラにおいて「平成二十三年定期総会」および「早稲田大学地域交流フォーラム」が開催されました。定期総会に先立ち京都校友会役員と大学との間で懇談会が開かれ意見交換が行われました。当会役員から「英国では物品寄付に対しては寄付者の名前が記されている、参考にしてはどうか」「ハロー早稲田イン京都の企画書を提出した大学からの助成はいくらか」「早稲田学報の文字が細かく読みづらい。読者には高齢者が多く配慮願いたい」などの意見が出されました。

続く定期総会において、二十二年  
度決算・事業報告が承認された後、  
二十三年度予算審議に入り、東日本  
大震災義捐金百万円を校友会へ贈る  
ことが承認されました。この義捐金  
は、被災校友および被災学生支援に  
使われます。本年度は役員改選期  
(任期二年)にあたり別掲のように  
決まりました。欠員のありました商

議員に小林慎吾会員、原田詔石会  
員、代議員に山田順男会員にお受け  
いただきました。地域交流フォーラ  
ムは、薫谷友紀大学理事が「早稲田  
大学の教育・現状」と題して早稲田  
大学の目指す方向性を講演しまし  
た。続く横山将義商学部教授による  
「日本経済・京都経済の現状と課題」  
は、大阪と京都との商業、工業の比  
較を諸表を使って解説、京都の商業  
の脆弱性が指摘されました。フォー  
ラムは一般公開としていたものの今  
度も一般は数名であり、あとは校友  
および保護者懇談会に出席の保護者  
であった。この後、懇親会が開かれ  
テーブルマジック等を楽しみまし  
た。近隣支部から中島奈良支部  
長、伊藤滋賀支部長、人見大阪早  
稲田倶楽部理事長、尾上兵庫事務  
局長、原滋賀副支部長、水谷滋賀  
県事務局長のみなさんもご出席いた  
だきました。

### 同好会だより

#### 舞鶴稲門会

京都府中丹・丹後(綾部・福  
知山以北)には、京都校友会の  
一組織として舞鶴稲門会(代  
表・志摩和彦校友会副会長)と  
丹後稲門会(代表・戸田晋校友  
会幹事)があり、住所判明者は



#### 山の会

「太神山・矢筈ヶ岳」

約五十名。六月二十六日に舞鶴  
において、三年ぶりに「北部稲  
門会」が開催されました。丹後  
稲門会の校友も加わり、また京  
都から協会長ほか数名の参加が  
ありました。京都北部稲門会と  
して一つにまとまらないものか  
の思いがあり企画したのです  
が、酒の席ではうまくいかない  
もので、丹後稲門会からの参加  
者、福知山・綾部からの参加者  
には、個別に趣旨を話しまし  
た。今後の課題とします。

六月十二日、参加者二十二名。八時二十分に石山駅に集合、バスにて湖南アルプス登山口に向い、五十分より登り始めました。最初の林道でほどよいウォーミングアップとなり、徐々に湖南アルプスと特有の岩肌が現れ、快適な山道と変化。中不動、泣不動、二尊門、不動寺を過ぎ、十一時に太神山山頂へ着く。急斜面に清水寺の舞台のように建つ不動寺を参り、境内で昼食。その後、矢筈ヶ岳へ向かう。少しルートを外したものの十三時四十分には頂上。雨の心配もあり急ぎ御仏河原を経て下山。途中、岩の上を川が流れ滑りやすい箇所もありましたが十五時二十分には登山口に戻りました。(山本英夫記)



## 小唄同好会

弾き唄いもあって  
賑やかに例会

例会が、六月二十三日、料理旅館「花楽(東山区)」で行われました。野田秀雄君は所要で欠席したが、東京から駆けつけた古屋泰二郎君(柳美代二)ら六人が出席して柳古美代師匠の三味線に合わせて自慢ののどを披露し、楽しく語り合った。なかでも、日頃、三味線の稽古に励んでいる山中秀男(柳美代秀)、彦惣弘(美代彦)両君が三味線を弾きながら唄う芸を披露、満足のいかない芸はやり直しもあって師匠や参加者から大きな拍手をもらっていた。



参加者の披露した唄は次の通り。(敬称略)

山中「移り香」「梅は咲いたか」、古屋「丸橋忠弥」「こぼれ花」、荒木勤(柳美典膳)「川風に」「雪の山中」、彦惣「四条の橋」「春風」、加地則之(柳美代之)「三つの車」、亀井励(柳古美亀)「祖谷のかずら橋」「日本橋」

## ゴルフ同好会

過去の戦績、早稲田二十四勝二十五敗一分、いよいよ悲願のタイかまたまたここで突き放されるか。第五十一回早慶対抗ゴルフ会が六月六日慶応主管により、朝日野カントリー倶楽部で開催された。危機を察知した慶



応は、関西アマ選手権に出場しているというプレーヤー二名を含む強力な十八名。対して早稲田は、滋賀県支部・大阪府支部からの参加者を加え十六名。ダブルペリアとは誠に不思議な競技方法。絶対的に自信を持っていた慶応を大差で降したのである。優勝は吉野校友、二と三は慶応に譲ったものの、四位以下は松山、斉藤、八幡(滋賀)、三橋、稲部(大阪)、中嶋と独占、上位七名による対抗戦は早稲田の圧勝。因みに上位十名であっても早稲田の勝ち。昭和六十年九月に始まった早慶対抗戦、タイに持ち込むまでに実に二十六年の歲月。いよいよ九月には、男子プロトーナメントを数日後に控えた十七日に、早稲田主管によるコンペが琵琶湖カントリー倶楽部で開催される。ここで勝つことが本当の願いである。

## 仏教稲門会

六月二十三日仏教稲門会(会長・菅原信海妙法院門主)総会・講演会がホテルグランヴィア京都において開催された。講演会是一般も聴講できることとあって京都校友会員も参加した。宗教学者の山折哲雄先生の

事務所よりご連絡

「無常について」は、今大震災は近代の価値観を根底から覆し古代の神話(ノアの箱舟・三車の火宅)が眼前に現れたことに特徴がありに始まり、無常三原則(①永遠のものは無い。②形あるものは滅す。③人は生きて必ず死ぬ)を説き、世界から賞賛される苦難に直面しても「秩序とほえみ」がある限り日本は復活すると結ばれました。

呼びかけ

石山修武氏(理工・建築学科教授)の石山研究室では、気仙沼市や隣の唐桑町の町づくりを取り組んできましたが、今回の大震災により被災、この地域の子供たちへの支援活動に絵葉書を販売し、売上げ全額を気仙沼・唐桑へ寄付。仏教稲門会ではこの趣旨に賛同し「町づくり活動四枚と平和の祈り二枚ワンセットの絵葉書」千五百円の販売に仏教稲門会は協力することとなりました。(来年3月まで)
なお、京都校友会でも研究室より預かっております。折に触れて呼びかけをしますので、ご協力ください。

『ご案内』

○奈良県支部では、支部創立百周年記念事業として「邪馬台国は、大和か九州か」の講演会を三回に渡り開催されます。チラシご希望の方は京都校友会専用FAX(〇七五-二一三一三三三三)にてお申出ください。(八月初旬には刷り上ります)
・第一回(九月四日)
「纏向遺跡の発掘調査―卑弥呼の宮殿を探して―」
・第二回(十月十五日)
「邪馬台国論」
・第三回(十一月十九日)
シンポジウム「邪馬台国は大和か、九州か」

『会員だより』

七月十三日、中京区のカフェで震災後、京都に避難されて来た方達(ほとんどが自主避難)との交流会を行いました。地元に残してきた家族や友だちのために京都でできること、京都でも起こりうる原発事故の対処方

法など多岐にわたる話題で盛り上がりました。今後も交流会やイベントを開催していく予定です。(中嶋由起)

『新入会員』(敬称略)

- 久世懐春(くせ やすはる)
平成十二年・政治卒
勤務先 京都府庁
○瀬野寛子(せの ひろこ)
平成五年・法卒
勤務先 日星高校
○難波嘉純(なんば よしずみ)
平成二十二年・商卒
勤務先 ㈱近畿大阪銀行
○中島郁夫(なかしま いくお)
昭和五十五年・社会科卒
勤務先 東大寺福祉療育病院
○橋詰雅人(はしづめ まさと)
昭和五十九年・商卒
○藤居弘之(ふじい ひろゆき)
平成九年・法卒
勤務先 弁護士法人たんご
法律事務所

○洞本邦男(ほらもと くにお)

昭和四十年政治卒
勤務先 ㈱ふたば書房

○宮崎謙介(みやざき けんすけ)
平成十五年・商卒
勤務先 宮崎けんすけ事務所

早稲田大学京都校友会役員

平成23年度改選

Table with columns: 顧問 (顧問: 黒田正玄, 加治則之), 会長 (会長: 脇 巖), 副会長 (副会長: 志摩和彦, 北村光男, 奥田 清, 藤田庸子, 原田詔石), 幹事 (幹事: 伊關義正, 池田貴志, 岩村徳治, 小川洋子, 隠塚 功, 勝山 清, 亀井 励, 小林慎吾, 四方恒行, 玉井美保子, 二ノ湯真士, 日置文章, 深谷純一, 舞鶴祥三, 三橋清司, 安田守男, 山中秀男, 戸田 晋, 岡村 修, 高森浩一, 中原真理, 中村憲夫, 橋口直太, 藤田年雄, 松山吉之, 宮地俊之, 大谷 巖, 吉川和秀, 加地則之, 黒田正玄, 小林慎吾, 原田詔石, 池田貴志, 斎藤謙次, 志摩和彦, 藤田庸子, 山田順男, 山田順男)



平成22年度 収支決算書

(自：平成22年4月1日)  
(至：平成23年3月31日)

早稲田大学京都校友会

(単位：円)

項目	収入の部			支出の部			備考	
	22年度予算	22年度決算	比較	22年度予算	22年度決算	比較		
前期繰越	6,320,750	6,272,750	△ 48,000	350,000	290,295	△ 59,705	講師謝礼、総会補助	
会費収入	840,000	932,000	92,000	200,000	175,550	△ 24,450	会報 2回	
広告料収入	0	0	0	250,000	194,683	△ 55,317	電話代、業書代、切手代等	
受取利息	100	11,084	10,984	40,000	34,000	△ 6,000	支部長会出席 他	
寄附金	30,000	30,000	0	60,000	60,000	0		
組織強化補助金	300,000	551,000	251,000	20,000	36,237	16,237	封筒、FAX用紙代等	
雑収入	0	0	0	0	0	0		
				20,000	28,000	8,000	2000円×11名分、過年度納入分	
				10,000	9,765	△ 235	FAX購入	
				40,000	40,570	570	案内状等の印刷	
				10,000	6,155	△ 3,845		
				50,000	39,930	△ 10,070		
				40,000	40,000	0	他支部への祝金	
				50,000	76,509	26,509	振込料、コピー代、松植替費用	
				30,100	0	△ 30,100		
				1,000,000	1,816,666	816,666		
				5,320,750	4,948,474	△ 372,276		
合計	7,490,850	7,796,834	305,984	7,490,850	7,796,834	305,984		
次期繰越の内訳	現金	郵便貯金	定期預金A	定期預金B	定期預金C	郵便振替	立替金(植樹)	合計
	1,503,669	1,204,376	0	531,000	0	1,329,510	6,459,864	4,948,474

【注】 当期収支差額は、当期収入 1,524,084円 - 当期支出 2,848,360円 = △ 1,324,276円であり、平成23年5月13日

上記の平成22年度収支計算書を監査したところ適正なるものと認めます。

会計監査 吉川和秀 会計監査 細 厚